

好学尚武

市立浦和高等学校野球部通信
発行者 鈴木 諭

発行日 R 7 . 3 . 2 7
発行ナンバー 1 1 6 6 号
(北村主将の代・・6 4 号)

試合結果

3月25日(火) 対桶川高校

第1試合	1対0	勝利
第2試合	途中まで	

3月26日(水) 対所沢西高校

第1試合	7対0	勝利
第2試合	途中まで	

今季通算成績 6勝 3敗

(左ページ下から続く)

浦実とは(同じ市内で仲が良いこともあり)関西入りしてから指導者の方と連絡を取り合っている私、本当に学ばせていただいています。選手1人1人の能力を最大限に引き出しているところが一番学ぶべき所でしょうか・・・表現は難しいですが、自チームの選手1人1人の能力が100点中80点だとしたら、その80点の力をしっかり発揮させている、そして100点ある相手の力を同じ土俵の80点ぐらいまで引きずり落としている(互角の展開に持ち込んでいる)、そんな感じでしょうか。

先になりますが、これで夏の埼玉県大会はとも楽しみな大会になることが決まりました(浦実をどこが倒すのか)。

同じ浦和、私達も対戦した時のイメージを持って取り組んでいきたいと思います。

浦和の野球界全体が盛り上がれば良いかと・・・浦実、引き続き頑張ってください！

春浦和(うらら)

私ぐらいの年齢(50歳)の高校野球ファンの方々は皆、同じことを思っているのではないのでしょうか？春選抜、浦和実業学園高校(以下、浦実)の(初出場での)勝ち上がり、これは(春と夏の違いはありますが)(そして35年以上前になりますが)同じ浦和の高校に似ているのではないかと？

そうです。私達、市立浦和高校とです(当時は浦和市立高校)。エースは共に三振をとるタイプではなく打たせてとるタイプ、それを堅守で盛り立てる。打線も強力打線ではないものの、繋がった時にしっかり複数の点をとる・・・今回の浦実は限りなく公立高校に近い野球を展開していると感じます。

ベスト8進出の時点でこれを書いているのですが、さらに不思議な現象が・・・

当時、浦和市立高校が準決勝で対戦し、敗退した広島商業高校が今大会、逆側から勝ち上がってきているのです。浦実、広島商業共に準々決勝を勝つと対戦する形になる(当時と同じ準決勝で)。

(右ページ上へ)

マネージャー大募集

新入生(選手)が練習に参加し始めましたが、市高野球部ではマネージャーも大募集しています。市高は隣(徒歩0分)に大会で使用されるアイル・スタジアム浦和があるため、マネージャーの仕事は校内にとどまらず、大会時のアナウンス、電光掲示板の操作、スコアのパソコン入力など、多岐にわたります。

興味のある新入生、ぜひグラウンドに足を運んで下さい。お待ちしております。